

令和５年度 いしなぐ福祉会事業総括

「 報 告 書 」

「法人の事業」

1. いしなぐ福祉会の事業について
2. そよ風の家（共同生活援助：介護サービス包括型事業）について
3. そよ風の家（短期入所）事業について
4. いしなぐ（多機能型事業所）について
5. ピーターパン（日中一時支援事業）について

「委託事業（名護市より）」

- 1.令和５年度 名護市障がい者緊急一時保護事業
- 2.令和５年度 名護市障がい者虐待防止の体制整備事業

「委託事業（宜野座村より）」

- 3.令和５年度 宜野座村障がい者緊急一時保護事業

事業の総括（概要）

1.いしなぐ福祉会の事業について

事業項目

- | | | |
|--------------|------------------|-------------------|
| 1.事業の目的 | 2.法人の事業 | 3.事業経営の基本理念 |
| 4.本年度事業の基本方針 | 5.組織図 | 6.役員及び評議員の定数 |
| 7.職員定数 | 8.理事会及び定時評議員会の開催 | |
| 9.監査の実施 | 10.本年度の重点事項 | 11.事業経営の財資源に関する事項 |
| 12.業務分掌 | | |

事業実施の概要

上記、項目全般において、特に大きな支障なく実施・推進することができたと思慮する。

法人の事業として、そよ風の家、そよ風の家（短期入所）、いしなぐ（多機能型事業所）、ピーターパンの各事業運営及び資金面において、特に支障なく事業運営を行うことができた。

一方、本年度（令和５年５月８日）において、新型コロナウイルス感染症の取り扱いが、インフルエンザ感染症同様５種に移行された。以後も感染者が一定人数いた。そよ風の家での感染者が数名出て、感染予防や健康観察を要した。事業所内外の諸行事等については、計画された行事・イベント等は、予定どおり実施できた。

サービスの提供においては、大きな支障なく活動を実施することができた。
重点事項に掲げた財政面においても特に支障なく、予算の範囲で運営することができた。

又、事業所の公的役割や人的・物的機能においては、地域の高校生（名護商工高校 29 名）の体験学習、名護特別支援学校（1 名）の施設実習の受け入れ、感染防止対策を行いつつ実施できた。

又、さをり織りボランティアの活動も毎月予定どおり実施できた。

沖縄からの DWAT チームとして、石川県へ災害派遣を実施した。実働期間は 6 日間。DWAT チームとしては、ケアマネ・介護士・保育士・社会福祉士などの様々な職種で協働し、それぞれの強みを活かしながらの活動を行った。知的障害者の皆様に関わる支援は今回ない状況であったが、総合支援の受付として従事した。短い期間ではあったが微力ながら被災者・被災地の力になれたことと思慮する。

そよ風の家とそよ風の家（短期入所）。グループホーム事業については、利用者のニーズと目的に沿った活動を推進することができた。しかし、数名のコロナ感染者が確認され、感染拡大を防止するため、自粛の形となった。今後も感染防止と支援、サービスの充実と健康管理を図っていきたい。

2. そよ風の家事業について

事業項目

1.基本方針	2.事業運営の重点事項	3.ゆとりある暮らし	4.プライバシーの保護	5.健康管理	6.食事サービス	7.安全管理	8.日課表	9.年間行事予定
--------	-------------	------------	-------------	--------	----------	--------	-------	----------

事業実施の概要

グループホーム「そよ風の家」入居者人数女子 10 人、男子 4 人、計 14 人が利用。

日中は全員が「いしなぐ」を利用し、日中活動を生活介護事業、就労継続支援 B 型事業を利用し、それぞれの利用者が充実した活動を行うことができたと思慮する。

生活は、ゆとりを基本に、個々のニーズや情緒面、利用者間への配慮が常に必要とされた。

個々の生活リズムの中で生活が行われているが時おり利用者間のトラブルなどもあるが特に問題はなく共同生活を行っている。

又、支援体制として、世話人・生活支援員、夜間支援従事者、父母、事業

所、医療機関との連携や毎月 1 回の職員会議を行い、日常生活の支援や健康面に関する事項について、ニーズ達成に向けて意見交換を行う。

余暇活動では、地域行事への参加や買い物、育成会活動への参加はコロナ感染症の発生時期からほとんど行われず、ホーム内でのカラオケやドライブなどを縮小しながら過ごすこととなった。

危機管理においては、災害避難訓練を定期に実施し、利用者の安全管理や防災器具等の自主点検に努めた。

3.そよ風の家（短期入所）事業について

事業項目

1.基本方針	2.事業運営の重点事項	3.事業内容	(1)住環境の提供	(2)食事管理	(3)健康管理	(4)服薬管理指導	(5)夜間の相談支援	(6)緊急時の対応	(7)利用者の定員	4.支援職員体制	5.日課表	6.年間行事予定
--------	-------------	--------	-----------	---------	---------	-----------	------------	-----------	-----------	----------	-------	----------

事業実施の概要

短期入所事業については、グループホームと同様、本人を取り巻く諸事情におけるニーズを踏まえ、利用頻度や人数も一定した状況にあり、有効に活用されている。

支援体制については、同性介護を基本とし、利用者のニーズに沿った支援・サービスを提供し、一定の評価と目的に沿った利用がなされたものと思慮致します。

4.いしなぐ（多機能型事業所）事業について

事業項目

1.事業の目的

1.事業の目的

2.職員に関する事項

1 職員定数

職員の支援体制の連携強化に関する事項

1. 支援体制に関する事項

職員の資質向上に関する事項

- | |
|---|
| 1.施設長関係研修 2.職員、利用者支援関係研修
3.事務等関係研修、他 |
|---|

会議等に関する事項

- | |
|---|
| 1. 職員会議（毎月） 2.支援会議（毎月） 3.ケース会議（毎月）
4.各事業別事業計画 5.個別支援計画、6.個別支援記録
7.モニタリング 8.各班の支援計画、9.個別支援計画の検討、反省 |
|---|

3.利用者の支援に関する事項

- | |
|--|
| ① 理念に関する事項 ②個別支援計画に関する事項 ③雇用システム、人間関係、社会の仕組みに関する事項 ④職場実習に関する事項
⑤防災・交通安全関係 ⑥重度利用者に対する支援 ⑦地域行事に関する事項 ⑧自立生活訓練・学習に関する事項 |
|--|

4.多機能型事業の内容

- | |
|--|
| 1.生活介護
2.就労継続支援B型
①公園班（公園等管理作業、他）、②園芸班（園芸作業他） ③
工芸班（木工作業、さをり織り作業） |
|--|

事業実施の概要

上記、事業項目の内容に沿った活動について、特に支障なく実施することができた。

利用者支援に関しては、担当職員が作成した個別支援計画案を各作業班の職員、更に全職員で計画内容の検討を行い、サービス管理責任者の修正・確認を得て承認され作成される。その過程を得て作成された個別支援計画を全職員で共有して全体の支援・サービスを実施する。

三者面談については、支援計画の内容を共通理解し、支援・サービスの実施・活動を行うこととなった。

また、日常の支援過程においては、個々の状況に応じて家族との連携を随時行い、支援内容の充実・向上に努めた。

生産活動全般については、予定した収入目標を達成し、工賃・賞与の支払いが予定どおり行うことができた。

「公園管理作業」

公園、園芸の作業では、名護市などから委託された作業で、主に除草作業やトイレ清掃、ゴミ拾いなどで、利用者、職員が一体となり個々のペースに配慮しながら取り組むことができた。

「さをり織り、木工作業」

さをり織り作業、木工作業においては、製品の完成度が高く、充実した製品作りに努めることができた。完成した製品の販売についても自家販売や委託販売などを行うことができた。特に木工作品の座卓やテーブル等の売上げ収入が大部分を占めることができた。名護市福祉まつりが実施され、年間の収支への影響はなかった。

また、嘉津宇岳展望台管理作業、メモリアルパークの屋外管理作業・サッカーラグビー場管理棟清掃は比較的ゆるやかな作業内容である為、さをり織り作業、木工作業が合同で作業を行うことができた。また、委託金は各班に配分され個々の工賃が増え、働く喜びに繋がっている。

また、毎月1回活動されているさをり織りのボランティアの活動も充実した。

「生活介護事業」

生活介護事業においては、リハビリ、レク活動、歩行訓練・機能訓練や読み聞かせ、創作的活動等、さをり織り作業への諸活動を行う。また、必要に応じ病院への引率受診などを行い、比較的ゆるやかに日課を過ごしている。

利用者の健康面においては、医師、看護師による定期訪問での健康管理も行い、充実した支援や、サービス活動ができたと思慮する。又、生産活動（野菜作り、琉球メダカ、**鯛**の飼育）にも取り組み、飼育や納品を通して地域との関わりも増えた。

「特記事項」

- ・福祉まつりにおいて沖縄海邦銀行労働組合より、太鼓の寄贈式が行われた。
- ・福祉まつりでは「いしなぐ太鼓」が行われ、昨年より人数も増えオープニングを盛り上げ、利用者の活動意識の向上につながった。
- ・いしなぐ展を開催。利用者の芸術発表の場、または、いしなぐに関わりのある方の作品展を行った。
- ・いしなぐ秋季交流会を開催。日頃お世話になっている方や地域住民、職員家族、関係者との交流の場となった。

5.ピーターパン事業について

事業項目

- | |
|---|
| 1.事業の目的 2.支援方針 3.利用日時 4.日中一時支援サービスの内容
5.月別行事計画 |
|---|

事業実施の概要

利用登録者数 18 人、職員体制 2 人（常勤 2 人、非常勤 1 人）。

活動内容においては、学習指導、おやつ作り、屋外活動、送迎サービス、誕生会等を行い、利用者のニーズに沿って活動を行っている。

利用者の安全管理、健康管理等については、家庭との連携を行い、利用者への支援とサービス提供に努めることができた。

また、経営、運営面においても、利用人数の大きな変動もなく事業経営を行うことができ、障害児（者）をとりまく地域環境において一定のニーズに貢献できたことと思慮する。

今後も対象者の皆さんに有効利用して頂く為に、事業の啓発を図るとともに、家庭、学校、地域と情報共有に努め、個々の自立に役立てる支援体制とサービスの提供と充実を図っていきたい。

「委託事業（名護市より）」

1. 令和 5 年度 名護市障がい者緊急一時保護事業の実施

名護市障がい者緊急一時保護事業委託契約書の内容に基づいた支援業務の実施。

2. 令和 5 年度 名護市障がい者虐待防止の体制整備事業の実施

名護市障がい者虐待防止の体制整備事業委託仕様書の内容に基づいた支援業務の実施。

「委託事業（宜野座村より）」

3. 令和 5 年度 宜野座村障がい者緊急一時保護事業の実施

宜野座村障がい者緊急一時保護事業委託業務委託契約書の内容に基づいた支援業務の実施。

令和 6 年 6 月 12 日（水）

社会福祉法人いしなぐ福祉会

理事長 島袋紀男

1. 利用者に関する事項

① 入退所の状況（令和5年度）

本年度内における利用者の入退所の状況は、下記のとおりである。

	入 所	退 所
男	1	0
女	0	1
計	1	1

② 月別在籍状況（令和6年3月31日現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
女	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	28
計	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	58

③ 月別皆勤者数（令和6年3月31日現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	16	17	0	14	13	14	15	14	12	5	11	15
女	19	18	0	15	16	18	18	17	11	4	14	20
計	35	35	0	29	29	32	33	31	23	9	25	35

④ 退所者の状況（令和6年3月31日現在）

	就業	介護等給付費支給解除	介護等給付費支給変更	計
男	0	0	0	0
女	0	1	0	0
計	0	1	0	0

⑤ 年齢別状況（令和6年3月31日現在）

	18～25	26～30	31～35	36～40	41以上	計
男	5	3	0	4	18	30
女	1	4	2	2	19	28
計	6	7	2	6	37	58
割合	10%	12%	4%	10%	64%	100%

⑥ 原因別分類（令和6年3月31日現在）

	仮死出産	難産	熱性疾患	先天性疾患	周生期異常	黄 だ ん 重症新生児	原因不明	脳梗塞	計
男	0	0	0	4	0	0	24	2	30
女	0	0	0	4	0	0	24	0	28
計	0	0	0	8	0	0	48	2	58

⑦ 重複障害別分類（令和6年3月31日現在）

	肢 体	聴 覚	視 覚	言 語	内部疾患	てんかん	精神障害
男	7	0	0	4	0	7	1
女	2	0	0	3	0	2	1
計	9	0	0	7	0	9	2

⑧ 地域別状況（令和6年3月31日現在、請求市町村地域別）

	名護市	金武町	本部町	宜野座村	大宜味村	今帰仁村	恩納村	国頭村	東村	計
男	24	0	1	2	2	0	0	1	0	30
女	15	5	3	1	0	2	1	0	1	28
計	39	5	4	3	2	2	1	1	1	58

2. 職員に関する事項

① 職員研修（令和5年度）

《所 内》

実施月	研修会名	講師	参加職種	参加人員	研修日数	研修内容
R5 5	職員所内研修		全職員	15 人	2 日	個別支援計画の検討
R5 9	職員所内研修		全職員	15 人	10 日	個別支援計画 モニタリング（上半期）
R5 10	職員所内研修		全職員	15 人	4 日	各事業の上半期の反省、評価、見直し
R6 2	職員所内研修		全職員	15 人	4 日	令和5年度各事業の年度の反省、評価・令和6年度の事業計画の作成。検討
R6 3	職員所内研修		全職員	15 人	5 日	個別新計画 モニタリング（下半期） 令和6年度個別支援計画の作成、検討。

《県内及び県外》

実施月	研修会名	主催者	場所	日数	参加職種	参加者	研修内容
R5 6	社会福祉法人 監査セミナー	沖縄県社会福祉協議会	事業所 オンライン 会議	2 日	支援課長 経理課長	宮城教綱 比嘉美智子	講義
R5 6	名護市障害児 通所支援事業 所連絡会	名護市	名護市	1 日	指導主任	中本昌子	従事者研修
R5 7	北部圏域障害 者自立支援会 議	北部福祉事務所	事業所 オンライン	1 日	支援課長	宮城教綱	従事者研修
R5 7	相談支援従事 者研修	名護市	名護市役所	1 日	支援課長	宮城教綱	サビ管研修

R5	8	キャリアパス 対応生涯研修	沖縄県社会福 祉協議会	沖縄県総合 福祉センタ ー	1 日	生活支援員	與儀敦子	総合研修
R5	8	北部コロナ研 修会	北部保健所	市民会館	1 日	支援課長	宮城教綱	講習
R5	8	障害福祉フォー ーラム	障害福祉フォー ーラム実行委員会	沖縄科学技 術大学院大 学	1 日	支援課長 支援主任	宮城教綱 大城貴洋	講習
R5	9	社会福祉継続 計画研修	沖縄県社会福祉 協議会	沖縄県総合 福祉センタ ー	1 日	支援課長 グループホー ムサビ管	宮城教綱 平良渉	講演
R5	9	社会福祉法人に とっての消費税 インボイス制度	東京都社会福祉 協議会	オンライ ン研修	1 日	経理課長 事務員	比嘉美智子 金城ナエ	講習
R5	9	てんかん発作は こうすれば大丈 夫	日本てんかん 協会沖縄支部	事業所	2 日	生活支援員 5名 職業指導員 3名	宮城大介他	講演 講演
R5	9	北部圏域障害者 自立支援会議	北部保健所	北部合同 庁舎	1 日	支援課長 支援主任	宮城教綱 大城貴洋	
R5	10	刈払機研修会	沖縄県セルフ センター	沖縄県総合 福祉センタ ー	1 日	職業指導員 生活支援員	許田将平 比嘉理奈 備瀬春奈	講演
R5	11	北部圏域障害者 自立支援会議	北部保健所	北部合同 庁舎	1 日	支援課長 支援主任	宮城教綱 大城貴洋	講習
R5	11	北部圏域障害者自 立支援会スキルア ップ研修	北部保健所	北部合同 庁舎	1 日	職業指導員 生活支援員	許田将平 古堅優奈	講演 講演
R5	12	工賃向上セミ ナー	沖縄県セルフ センター	沖縄県総 合福祉セ ンター		支援主任 生活支援員	大城貴洋 與儀敦子	
R5	12	コロナスキル アップ研修	北部保健所	タピック スタジア ム会議室		グループホ ームサビ管 世話人6名	平良渉他5 名	講演

R6	1	植物アレルギー研修会	沖縄県公衆衛生協会	北部雇用 能力開発 総合セン ター	厨房職員 事務員	池間直子 友寄和子 金城ナエ	講演
R6	3	虐待防止研修	いしなぐ	いしなぐ 食堂	全職員	島袋紀男他	講演
R6	3	災害派遣福祉 チーム研修	沖縄県社会福 祉協議会	沖縄県総 合福祉セ ンター	支援課長	宮城教綱	講習

3. 本年度中に実施した主な行事

4月	4日 6日 26日	創立35周年セレモニー 看護師による健康相談 さをり織り縫製ボランティア受け入れ
5月	13日 24日 27日 30日	社会見学 さをり織り縫製ボランティア受け入れ 三者面談（個別支援計画についての父母及び扶養義務者・電話、訪問対応） 看護師による健康相談
6月	13日 13日 15日 17日 20日 28日 29日	監事監査 避難訓練 いしなぐ福祉会第1回理事会 ティーボール大会（新型コロナにより中止） 看護師による健康相談 さをり縫製ボランティア受け入れ いしなぐ福祉会定時評議員会
7月	20日 26日	看護師による健康相談 さをり織り縫製ボランティア受け入れ

8月	22日 24日 25日	看護師による健康相談 さをり織り縫製ボランティア受け入れ 嘱託医による問診
9月	6日 16日 20日 22日	看護師による健康相談 バーベキュー さをり織り縫製ボランティア受け入れ 嘱託医による問診
10月	10日 11日 12日 16日 25日	看護師による健康相談 健康診断 インフルエンザ予防接種 名護特別支援学校実習生受け入れ（1名生活介護） さをり織り縫製ボランティア受け入れ
11月	6日 6日 15日 15日 21日 26日 30日	看護師による健康相談 第1回いしなぐ展 さをり織り縫製ボランティア受け入れ 避難訓練 嘱託医による問診 Nago みんなのハート&アート展・ハッピーハートバザール 名護市民劇参加 いしなぐ福祉会第2回理事会
12月	2日 4日 11日 13日 16日 28日	ゆうあいスポーツ大会 看護師による健康相談 第2回いしなぐ展 さをり織り縫製ボランティア受け入れ レク活動、忘年会 仕事納め
1月	4日 4日 6日 11日 24日	仕事始め・新春の集い 看護師による健康相談 餅つき大会 名護商工体験学習（29名） さをり織り縫製ボランティア受け入れ
2月	2日 9日 17日 21日	看護師による健康相談 やんばる展出展 新年会・成人・生年祝い さをり織り縫製ボランティア受け入れ

3月	1日	名護市議会アートギャラリー絵画展 5月31日迄
	4日	看護師による健康相談
	9日	名護市福祉まつり参加・出店
	21日	さをり織り縫製ボランティア受け入れ
	27日	嘱託医による問診
	28日	いしなぐ福祉会第3回理事会

4. 施設開放事業等の実施状況 (地域との交流状況等)

4月	26日	さをり織り縫製ボランティア受け入れ ボランティアを受け入れ、技術の向上を図る。また製品化することにより収入を増やし、工賃としての還元を多くする。
5月	24日	さをり織り縫製ボランティア受け入れ
6月	16日 20日 28日 29日	監事監査 いしなぐ福祉会第1回理事会 さをり織り縫製ボランティア受け入れ いしなぐ福祉会定時評議委員会
7月	26日	さをり織り縫製ボランティア受け入れ
8月	24日	さをり織り縫製ボランティア受け入れ
9月	22日	さをり織り縫製ボランティア受け入れ
10月	16日 25日	名護特別支援学校実習生受け入れ（1名生活介護） 自己の生活経験の拡大を図り、働く喜びと自信を持たせ、職場における生活に必要な基礎知識、技術、態度を養う目的で行われる。職場実習生を受け入れ利用者の自己啓発と親睦を図る。 さをり織り縫製ボランティア受け入れ
11月	6日 15日 30日	第1回いしなぐ展 利用者の芸術発表の場を提供し、より芸術活動が行えるようにする。また、いしなぐに関わりのある方の作品展示も行い、より作品（芸術）に対しての視野や興味を広げていく。 さをり織り縫製ボランティア受け入れ いしなぐ福祉会第2回理事会

	30日	いしなぐ秋季交流会 日頃お世話になっているボランティアの方々や関係者、地域住民を案内し、たくさんの方々に来ていただき、賑やかに交流していく。
12月	11日 13日 16日	第2回いしなぐ展 さをり織り縫製ボランティア受け入れ レク活動、忘年会 利用者の1年の労をねぎらう。
1月	6日 11日 24日	餅つき大会 一年の健康と安全を願いながら楽しく過ごす。また、地域との交流を図り、関係性を構築していく。 名護商工体験学習 福祉に興味を持つ高校生を受け入れ障害者を取り巻く様々な課題を勉強していく機会とする。 さをり織り縫製ボランティア受け入れ
2月	17日 21日	生年祝い 生まれ年を迎える友の喜びを皆で、分かち合い激励するとともに、これまで温かく見守ってくださった方々に感謝し、一步成長する節目とする。 さをり織り縫製ボランティア受け入れ
3月	21日 28日	さをり織り縫製ボランティア受け入れ いしなぐ福祉会第3回理事会